



カンボジアに学校を!!

10月7日、大野小学校近くの水田で、カンボジア学校建設募金米の稲刈りが行われました。大野小学校の児童が鎌を片手に稲を刈り取り、掛け干し作業を行いました。

この日は、韓国からの研修員呉玲慶さんとカンボジアからの研修員ソク・センレツさんも作業に加わり子供たちと一緒に汗を流しました。

募金米は、大野温泉センター、肥後うららで販売。また、11月27日に開催される「国際交流まつり」でも販売されます。



庭園に響く優雅な奏で

赤松館庭園演奏会

10月23日、藤崎家住宅「赤松館(せきしようかん)」で庭園演奏会が開催され、藤間勘蘇女さん、藤間蘇和さんの日本舞踊、剣光道さんの尺八、藤川いずみさん、みやざき都さんの箏を堪能しました。町内外から約200人が訪れました。

この演奏会は、新町発足を記念し、開催されました。

演奏会に先立ち竹崎町長が「一流の邦楽、日本舞踊をお楽しみいただきますとともに、藤崎家、芦北地方の歴史にも思いをはせていただきたい」とあいさつ。

演奏会は、歴史ある建物の風格と、広々とした庭園の美しさに、まるで違う時代に迷い込んだような思いに駆られる赤松館の一室で繰り広げられました。日本舞踊の華麗な舞、尺八と箏、三味線の奏が庭園に響き渡り、観客は、日本伝統の響と舞を堪能しました。

藤崎家住宅「赤松館」

は、明治26年(1893)に建築され、107年の歴史があり、かつての地主屋敷が分かる、貴重な建築物です。文化庁は「高い水準の木工技術を有する近代和風建築で

ある」として、平成12年に主屋をはじめとする9件の建造物を国の登録有形文化財に登録しています。また、著名な料理研究家である故・江上トミさんの生家でもあります。



尺八：剣光道さん



箏：藤川いずみさん、みやざき都さん



藤間勘蘇女さんの日本舞踊「萩の露」



日本舞踊：藤間蘇和さん

芦北町文化祭

10月29日～11月3日 しroyamasカイドーム

開会式・郷土芸能発表会

初日の10月29日には、開会式が行われ、竹崎町長が「期間中多くの方々に御来場いただき、芦北町の文化と地方に根ざす心の文化に触れていただきたい」とあいさつ。引き続き、新芦北町の初代文化協会長の平江大八さんが「文化祭は、日ごろの芸術、文化活動の成果を発表し会員相互の交流と親睦を深める良き機会です。合併後初の芦北町文化祭が、皆様の記憶に残る素晴らしい文化祭となることを祈念します」とあいさつしました。

同日は、郷土芸能の「宮の後臼太鼓踊り」「伏木氏棒踊り」「才木ひよろ搦き唄」「市野瀬棒踊り」の発表が行われ、保存会のメンバーは、日ごろの練習の成果を披露しました。



宮の後臼太鼓踊り

子どもフェスティバル



古代田浦倭踊り

10月30日、子供講座発表や青少年の主張、吹奏楽団の演奏が行われました。

子供講座発表では、茶道、手話、英会話の各講座を受講する子供たちが、日ごろの練習の成果を発表しました。

青少年主張発表では、7人の児童生徒が、将来の夢やボランティア活動、国際貢献などについて自分の考えをしっかりと口調で発表しました。

子供郷土伝承芸能発表では「計石唐人踊り」「内野棒踊り」「古代田浦倭踊り」が披露され、子供たちの熱のこもった踊りに、会場から盛大な拍手が贈られました。

最後に、芦北町吹奏楽団の発表が行われ、大人を交えた30人の楽団が「In the Mood」「ブラジル」「ルパン三世のテーマ」の3曲を披露しました。

文化講演会

10月30日、俳優で武道家でもある藤岡弘、氏が「伝統の継承こそ日本の財産」と題して講演を行いました。

藤岡氏は「子供たちこそが財産です。その子供たちに、命をかけた愛、郷土愛、家族愛を持って、伝統文化の歴史にのっとって、我々の先輩、先人たちによって今があることを伝える教育が必要である」また、「人格を伴った自己抑制の美学」という武士道精神の必要性も交えながら講演されました。

会場には、約320人が訪れ、藤岡氏の愛と情熱のこもった講演に聴き入りました。



藤岡弘、氏

文化協会発表・作品展示



大正琴の演奏

11月3日、芦北町文化協会所属の16団体が発表を行いました。

文化祭最終日となったこの日、会場には約300人が詰めかけ、大正琴の演奏や日本舞踊、ハワイアンフラダンスの華麗な舞台に、会場から盛大な拍手が贈られました。

文化祭の期間中、会場には、書道、絵画、盆栽、いけばな、工芸品のほか小・中学生の書道絵画や福祉施設等からの作品など約1000点が展示され、訪れた方々の目を楽しませました。



日系社会シニア・ボランティア

元村深雪さんパラグアイからの手紙②

芦北町の皆様、お元気で過ごされていることと思います。

私はパラグアイに来て3か月が経ち、だいぶ慣れたというものの、まだ迷子になったり、道路のくぼみにはまったりしながらも元気で過ごしております。(パラグアイはいたるところに穴があり、前を見てではなく、下を見て歩かなければなりません。)

ここパラグアイでは日系移住者が9つの移住地に住み、農業、商業、弁護士、医師などさまざまな仕事に就き活躍されていますが、社会福祉の面では不備な面が多く、たとえば健康保険も民間の保険しかなく、金持ちの保険で、貧乏な人は病院にもかかれません。もちろん年金もなく、多くの社会的弱者は路上生活を余儀なくされています。(一割の金持ちと一割の中流)

そのなかで日系の人々は日本人特有の勤勉さで、金持ちではありませんが信頼と信用を築き、ここパラグアイでの確固とした地位を築かれています。

今日は9つのコロニーの一つでブラジルとの国境の町、シウダ・デ・エステという町に行って来ました。これで9つのコロニーのうち8つを回ったことになります。

この町に行くにはバスで6時間かかりますが、途中のイグアスと言う町は日本人のコロニーがあり、そこは今、辺り一面黄金色の麦が実り、そのなかに所々大豆の新芽があったり、またひまわりの花が咲いていたり、それはそれは綺麗です。

次回はパラグアイの交通事情を送りたいと思います。



連覇を果たした役場女子チーム

10月12日、屋内消火栓操作法大会が水俣芦北広域行政事務組合消防本部で開催されました。この大会は、自衛消防隊の屋内消火栓操作技術の向上と士気の高揚を図り、万一の際の自主防災活動に備えることを目的に開催され、今回で21回目となりました。大会には、水俣芦北地域の事業所から男子の部に13チーム、女子の部に4チームが参加し、1チーム3人編成で、日ごろの練習の成果を競いました。本町から女子の部に出場した、芦北町役場チームが2年連続の優勝を成し遂げました。男子の部には、本町から特別養護老人ホーム田の浦荘、宮崎整形外科医院、東海カーボン(株)田ノ浦工場、芦北町役場、新清苑、芦北学園発達医療センターの6チームが出場しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

役場女子チーム連覇

水俣芦北地区屋内消火栓操作法大会

大会の結果

(男子の部)

優勝 チッソ(株)水俣本部A(水俣市)

2位 生活協同組合水光社(水俣市)

3位 チッソ(株)水俣本部B(水俣市)

(女子の部)

優勝 芦北町役場

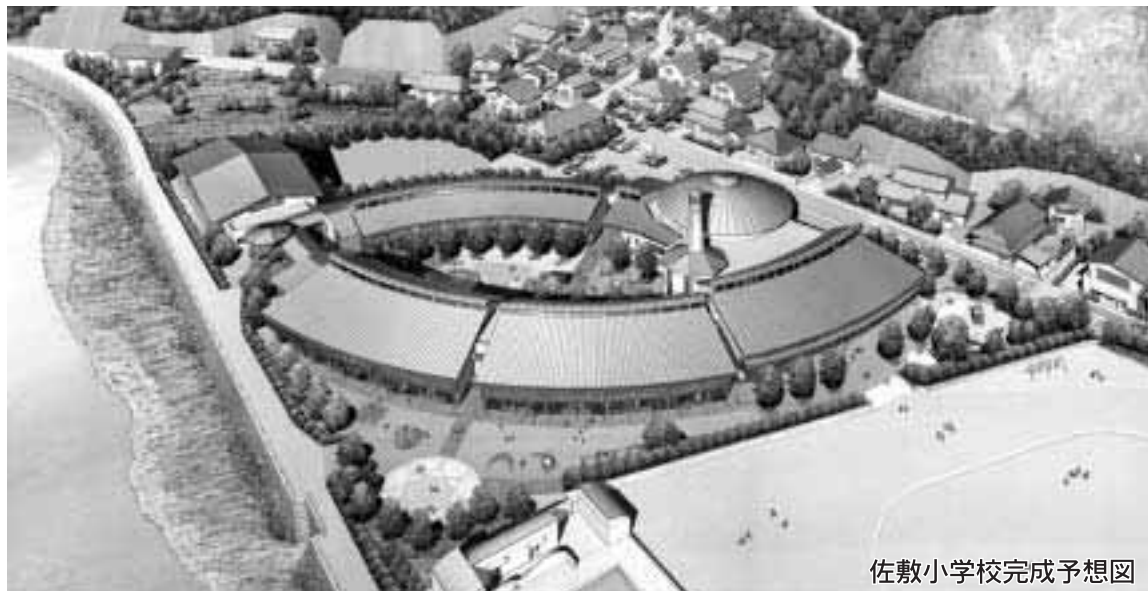
2位 敬愛会 白梅(水俣市)

3位 生活協同組合水光社(水俣市)



息の合った機敏な動作でホースを延長する選手

佐敷小学校改築工事に着手



佐敷小学校完成予想図

佐敷小学校改築工事安全祈願祭が10月17日、佐敷小学校グラウンドで行われました。

同校は、昭和49年から50年にかけて建設され、約30年が経過。雨漏り、外壁の落下など痛みが激しく、平成13年度の耐力度調査においても危険であることが判明し、改築することとなりました。

新校舎は、うたせ船をモチーフとした木造2階建ての4440平方メートルで、町有林を使用し、街なみに調和した外観と、落ち着いたぬくもりのある造りとなっています。

この日は、県、町、地域住民代表、施工業者など関係者約70人が出席。代表者が鎌入れ、鍬入れ、杭打ちのあと、祭壇に玉串を捧げて工事期間中の安全を祈りました。

祈願祭の後、工事発注者である竹崎町長は「立派な校舎ができ、素晴らしい教育環境が整っていくものと確信しています。地域の心のよりどころとなる学校です。みんなで築きあげ、素晴らしい学校になることを祈念します」とあいさつしました。

現在の校舎は、今月末から解体が始まり、来年2月には、新校舎の建設に着手。来年12月の完成を目指して工事が進められます。来年度の3学期（平成19年1月）には、新しい校舎で元気に学ぶ子供たちの姿が見受けられることでしょう。

灯りアート展

～薩摩街道佐敷宿～

10月22日、薩摩街道佐敷宿商店街で、佐敷宿浪漫 灯りアート展が行われました。

商店街の通りには、さまざまな形や色の灯ろうが飾られました。芦北郵便局横の特設会場では、佐敷中学校の生徒が製作した灯ろうのほのかな明りが、佐敷宿の白壁を幻想的に照らし、来場者の目を楽しませました。また、特設会場では、琴修会による大正琴の演奏、グループ「さくら」によるコンサートが行われ、佐敷宿に優雅な音楽が流れました。そのほか、佐敷ひよっとこ笑福会によるひよっとこ踊りや昔ながらの破籠井当の展示・販売も行われ、多くの人々が薩摩街道の幻想的な夜を楽しみました。



グループ「さくら」による灯りアートコンサート

10月のできごと



初期消火で表彰を受けた山近さん（左）、稲葉さん

10/13

迅速な連携で延焼を防止

～湯南団地火災初期消火表彰～

水俣芦北広域行政消防本部（坂本常任消防長）は、初期消火協力者である湯南団地の山近統一さん、稲葉知美さん、竹崎美登さんを表彰。芦北消防署で行われた表彰式には、山近さん、稲葉さんが出席し、坂本消防長から感謝状と記念品が贈られました。

8月23日午前8時50分ごろ湯南団地で発生した建物火災で、「火事だ」という知らせに、消火器やバケツを使った消火と消防署への通報など、迅速な連携により延焼を未然に防ぎました。

10/13

楽しくスポーツで交流

～芦北町福祉スポーツ大会～

芦北町福祉スポーツ大会がしろやまスカイドームで行われ、五松園・石路の里などの福祉施設入所者や身体障害者連絡協議会の各支部会員など約650人が参加しました。

参加者の融和と健康増進を図り、福祉の向上を目的に行われた同大会は、町社会福祉協議会の主催で、合併後初の大会です。

開会式では、八幡荘の久保玲子さんが「楽しく競技することを誓います」と選手宣誓。輪投げや玉入れ、大玉ころがしなど各種目を楽しみながら競技しました。また、田浦保育所の園児も玉入れ、大玉ころがしに出場。秀岳館高校吹奏楽部による演奏では、マツケンサンバの曲に合わせてダンスを披露し大会に花を添えました。



大玉ころがしに挑戦する選手たち

10/23

新鮮な魚介類が人気

～芦北漁協さかなの朝市～

12周年を迎えた「さかなの朝市」が午前6時から芦北漁協で行われ、町内外から約300人が詰めかけ、タイやチヌ、タチウオなどを買い求めていました。

朝市は、地元で捕れるおいしい魚をPRしようと、毎月第2土曜日、第4日曜日（11月～3月は午前7時～、4月～10月は午前6時～）に芦北漁協朝市部会が行っているもので、新鮮な魚介類が提供される朝市は人気が高く好評を得ています。

会場では、12周年を祝って刺身と魚の味噌汁が振る舞われ、買い物客は、新鮮な魚とあったかい味噌汁に舌鼓を打っていました。



新鮮な魚介類を求め芦北漁協に詰めかけた人たち

第6回

芦北ローラーリ्यूージュ大会

芦北海浜総合公園



地面すれすれの姿勢でヘアピンカーブを走る選手

第6回芦北ローラーリ्यूージュ大会が10月16日、芦北海浜総合公園で行われ、ジュニア男女・一般男女など6部門に、町内はもとより県内各地から52人が参加しました。

競技は、ファミリールコース（695m）を使い、2回走行し早いほうのタイムで順位を競いました。練習走行では、勢い余って転倒した。

大会の結果、一般男子Bの部に出場した本山昭さんと、一般女子の部に出場した石塚美和さんが、男女それぞれ総合優勝を勝ち取りました。

各部門の成績は次のとおり。（敬称略）

◆ジュニア

【男子】①宮崎 真吾（1分24秒96）

②田代 侑哉③友安 裕

【女子】①藤野 桃衣（1分24秒98）

②橋本 亜紀③山田 響

◆ユース

【男子】①舩永 潤（1分23秒00）

②橋本 晃一③舩永 諒

◆一般

【男子A】①橋本 武典（1分17秒26）

②河野 孝宗③北岡 潤

【男子B】①本山 昭（1分17秒19）

②東 陽一③林田 孝敏

【女子】①石塚 美和（1分23秒31）

②本村 優佳③友安 雅美

町民体育祭（陸上）



合併後初の大会で優勝を飾った佐敷体協

10月9日、町民体育祭陸上競技大会が選手、役員など約1500人が参加し、総合グランドで盛大に開催されました。

合併後初となるこの大会は、葦北鉄砲隊の祝砲で幕を開け、真新しい体協旗を先頭に各地域体協が入場。各体協代表として、元山祐司さん（田浦体協）、宮本美咲さん（佐敷体協）、山本麻美さん（大東体協）、平山翔さん（湯浦体協）が選手宣誓を行いました。



会場を湧かせた10人11脚



大会のフィナーレ町民リレー



各体協代表による選手宣誓

競技は、小・中学生、年代別の100m走、リレー等のトラック競技、走り幅跳び、砲丸投げ等のフィールド競技、綱引きやむかで競争、玉入れ等の27種目で熱戦が繰り広げられました。

中でも、幼児、小・中学生と年代ごとの男女でチームを編成する町民リレーは、大会のフィナーレを飾るにふさわしく盛り上がり、応援席からの声援が一段と大きく上がりました。

大会は、佐敷体協が合計708点で初優勝、2位は田浦体協（603点）、3位が湯浦体協（556点）、4位が大東体協（454点）でした。

「節水」で守ろう みんなの水資源

町水道における給水量は、水洗トイレの普及などによる生活習慣の変化により、年々増加傾向にあります。

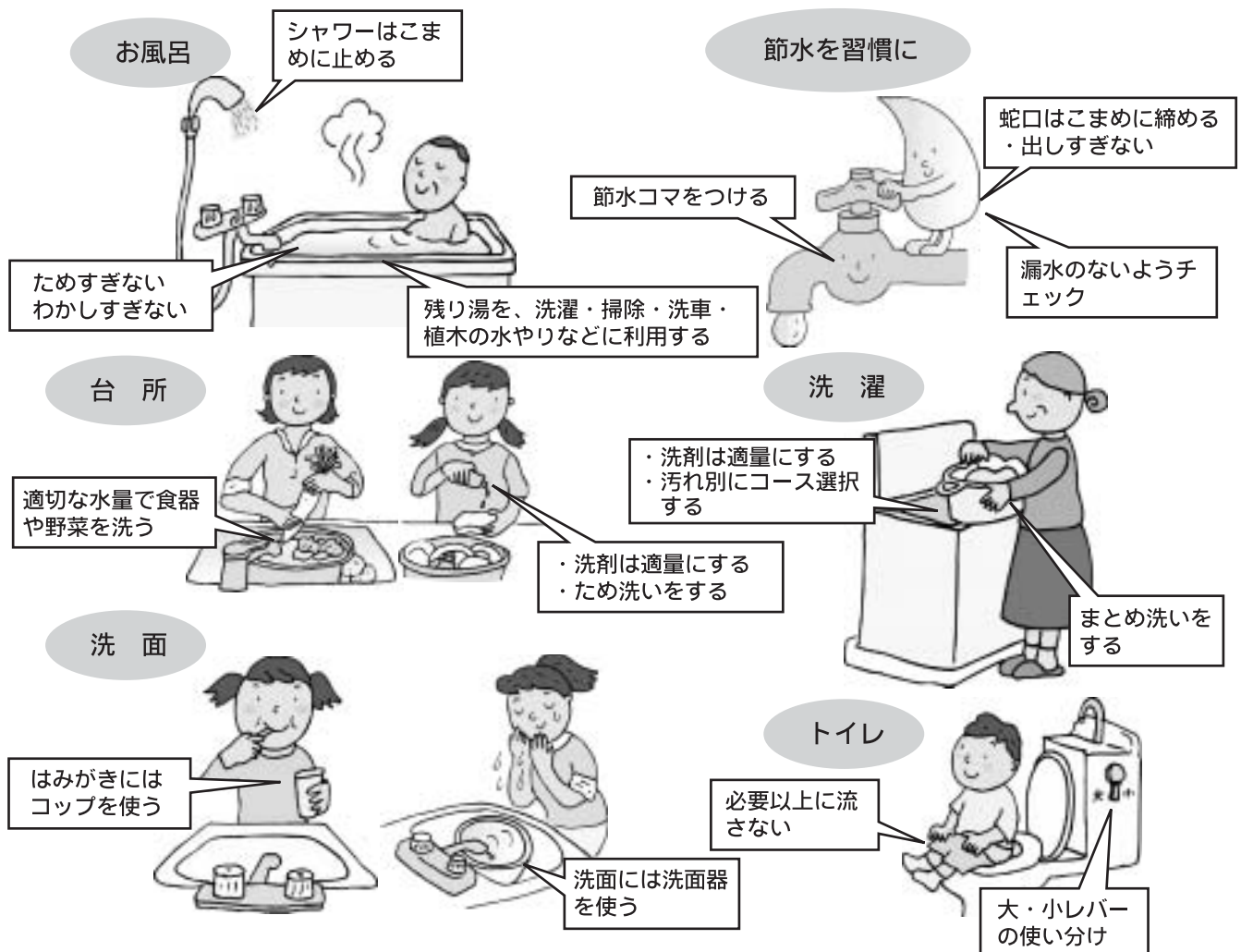
また、本町の生活用水は町水道を含めほとんど地下水で賄われていますが、近年、町水道はもとより、全国的に地下水位の低下が見られます。

水は私たちの生活に欠かすことのできない、貴重な限りある資源です。水の恩恵を受け続けていくためには、利用者である私たち自身が水を守っていかなければなりません。水を守るために誰もができる行動、それは「節水」です。

次に示す節水対策を参考に、みんなの手でかけがえのない水資源を守りましょう。

家庭でできる節水対策

「節水」は生活に必要な水を我慢することではなく、無駄なく、効率的に水を使うことです。



※水道に関するお問い合わせは、役場水道課（本庁舎）へ 電話 82-2511（内線181）

ご存じですか？児童・母子福祉制度

1 児童手当

対象者

小学3年生までの児童を養育している方
※所得制限があります。

給付内容

第1・2子…月額 5,000円
第3子以降…月額10,000円
手当は、6月・10月・2月にそれぞれ前月までの4か月分を支給します。

2 児童扶養手当

対象者

離婚や父親の死亡、父親の重度障害により、18歳未満の子供を養育している母や母に代わって養育している方
※所得制限があります。

給付内容

全部支給…月額41,880円
一部支給…月額 9,880円～41,870円
手当は、4月・8月・12月にそれぞれ前月までの4か月分を支給します

手当は所得に応じて金額を決定します。

3 ひとり親等家庭医療費助成

対象者

父子家庭の父、母子家庭の母及びその者に扶養されている児童又は父母のいない児童
※児童は、18歳になってから最初の3月31日までで、父母は、児童が20歳になる月までを助成対象とします。

給付内容

助成対象者又はその保護者が一部負担金（高額療養の場合や付加給付がある場合はそれを控除した額）を支払った場合にその9割を助成します。
助成の申請は、診療月の末日から1年以内です。

4 乳幼児医療費助成

対象者

乳幼児（4歳に満たない者）を養育している方
※多子世帯（18歳以下の児童が3人以上いる世帯）幼児で満4歳から就学前までの幼児の入院の助成制度もあります。

給付内容

助成対象乳幼児を養育する者が支払った一部負担金（高額療養の場合や付加給付がある場合はそれを控除した額）の10割を助成します。
助成の申請については、診療月の末日から1年以内です。

※お問い合わせは、役場福祉課児童家庭福祉係（本庁舎）へ

電話82-2511（内線151）

お知らせ

寒蘭展示会・

山野草展示会開催

◇期 間 11月19日(土)、20日(日)
◇時 間 19日 8時30分～17時
20日 8時30分～16時
◇場 所 農村環境改善センター
生活研修室

※お問い合わせは、

田浦山草好会友会

川内誠志

☎8710288

生衛業経営相談室開設

◇期 日 12月12日(月)
◇時 間 10時～15時
◇場 所 水俣保健所

◇対象者

飲食関係営業、食肉販売業、理容業、美容業、旅館・ホテル業、公衆浴場業、クリーニング業、興行場の営業者及び開業予定者

◇相談内容

・経営全般、特に店舗等の経営診断、分析及び経営情報の提供
・資金需要に対する国民生活金融公庫の利用方法
・国税(相続、贈与税等)、地方税及び帳簿等の記帳方法

※お問い合わせは、水俣保健所

☎6314104

熊本県環境センター

12月開催イベント

水にさらさなくても生で食べられ、血液もさらさらになる「サラダたまねぎ」を植え付け、無農薬で育てて、来春に収穫します。

◇期 日 12月4日(日)

◇時 間 10時～13時

◇場 所 熊本県環境センター

◇対象者 一般、親子

◇参加料 大人 1500円
子供 500円

(昼食代等)

◇申込期限 11月27日(日)

※申込先及びお問い合わせは、

熊本県環境センター

☎6212000

町道川嶽線

時間通行止のお知らせ

電源開発(株)による瀬戸石ダム調整池護岸補修工事に伴い、町道川嶽線の一部区間(海路～高田辺)において時間通行止を行います。

時間通行止め区間附近には、事前に案内看板を設置しますので、御確認の上、御通行ください。

◇通行止期間

平成17年11月22日(火)

～平成18年2月19日(日)

(ただし、平成17年12月25日～平成18年1月9日までと日曜を除く)

◇通行止時間

① 8時30分～10時

(10時～10時15分通行止解除)

② 10時15分～12時

(12時～13時 通行止解除)

③ 13時～15時

(15時～15時15分通行止解除)

④ 15時15分～17時

それ以外の夜間は通行可

※お問い合わせは、

役場企画財政課

企画統計係(本庁舎)

☎8212511(内線253)

リサイクルごみ 収集日変更のお知らせ

毎月第4水曜日に収集しているリサイクルごみ(新聞・雑誌、ダンボール衣類等)は、今月の23日が収集日となりますが、勤労感謝の日に当たりますので、翌週に変更いたします。

◇該当地区 湯浦東、宮崎、豊岡丸米、田川、高岡、古石

◇変更後収集日 11月30日(水)

※お問い合わせは、

清掃センター芦北事業所

☎8610277

熊本県(地域別)最低賃金

平成17年10月1日改定

時間額 **609円**

この最低賃金は、産業別最低賃金が適用されないすべての労働者(臨時・パートタイム労働者を含みます。)に適用されます。

※お問い合わせは、熊本労働局賃金室

☎096-355-3202

お誕生おめでとう

H17. 10. 1～10. 31 受付分



(敬称略)

名 前	誕生日	性別	保護者	行政区
向川 星音 ^{しおん}	9.26	女	潤	湯 浦 南
森川 愛 ^{あい}	9.30	女	隆 一	湯 浦 南
川添 勇弥 ^{ゆうや}	10. 1	男	龍 彦	小田浦5
一谷 理沙 ^{りさ}	10. 1	女	幸 則	市 野 瀬
切通 拓海 ^{たくみ}	10. 2	男	良 文	田浦町3
山下咲空夢 ^{さくむ}	10. 5	男	吉 祥	吉 尾
岩本姫来里 ^{きり}	10. 6	女	栄 助	岩屋川内
森下 乃亜 ^{のあ}	10. 9	女	明	上 町
川元 茉奈 ^{まな}	10.10	女	崇	田 浦 3
今村 賢斗 ^{けんとう}	10.14	男	かなえ	湯 浦 南
猪木 楓 ^{かえで}	10.15	女	正 文	小田浦3
長濱ゆずな	10.27	女	裕次郎	沖

※本町窓口へ届出をされた方で、承諾を得た方を掲載しています。

町外に提出された方で、掲載を希望される場合は、役場広報係まで御連絡ください。

なお、掲載は町内在住者に限ります。

ご冥福をお祈りします



H17. 10. 1～10. 31 届出分

(敬称略)

死亡日	亡くなられた方	年 齢	行政区
10. 5	小 崎 ヤエ子	86	女 島 西
10. 5	杉 村 保 雄	50	花 岡 西
10. 6	板 平 巴	73	横 居 木
10. 6	門 口 フジノ	91	田浦町3
10. 7	丸 山 常 喜	76	丸 山
10. 7	堀 田 逸 枝	71	田浦町1
10. 8	河 口 チ ト	93	大 岩 一
10. 8	長 埜 ミサエ	62	天 月
10. 9	横 田 悟	80	小田浦6
10.11	寺 川 タエ子	70	豊 岡
10.11	吉 井 基 和	67	上 町
10.14	枇杷木 行 男	83	大 尼 田
10.14	福 山 孝 一	65	花 岡 西
10.16	小 崎 等	70	黒 岩 崎
10.21	寺 川 ヒデ子	68	宮 崎
10.21	谷 口 スマ子	79	大 野
10.21	道 崎 一	80	海 浦 1
10.22	荒 木 第四郎	87	平 生
10.24	山 田 文 男	79	簸 瀬
10.24	松 村 信	69	井 牟 田 1
10.25	山 本 春 幸	47	大 岩 二
10.25	下 田 美登子	61	田浦町1
10.30	山 内 和 夫	78	大川内南

※本町窓口へ届出をされた方で、承諾を得た方を掲載しています。

人口のうごき (H17.11.1現在) ()内は前月比

人 口	21,596人	(一 32)
男	10,100人	(一 17)
女	11,496人	(一 15)
65歳以上	7,018人	(+ 2)
高齢化率	32.5%	(+ 0.1)
世 帯 数	7,628世帯	(一 3)

俳 柳

白萩にしばし佇む万歩計

黒田あきえ

ひと安堵台風一過の宵迎え

田中ミツオ

名月やめぐり逢いたい人もあり

倉永 敏弘

阿蘇路ゆき人も芒も風の中

田畑 君子

篤農の名のみ残して秋たより

杉村 さの

短 歌

あじさゐの花の素枯れに輝ける空蟬まことまこと美し

野村れい子

石臼に植えし蓮葉の間より明日開くべき蕾の尖り

福田 芳子

デジカメのパソコン入力講習も家に帰ればちんぷんかんぷん

満田 圭一

水撒けば庭のこおろぎ鳴き初むいつとは知らず秋とはなれり

山下 忠子

甘夏の摘果をしつつ木の下に屈めば風の通り過ぎゆく

溝口 陵子

女島潟埋めたてられてコスモスの花とりどりに風にゆらぎぬ

山之口ミエ

球根を皆で埋めたるチューリップ鉢を並べて朝の水やる

島本 マキ

暗闇に鳥の声かと思うほどひびく虫の音外来種かも

橋本さゆみ

古い母は幼児にかえり父母はどこにいるかといつも尋ねる

道園 政子

古代人狩せし野山か起伏なす上場高原コスモス揺るる

佐々木範子

食生活改善推進員の食育レシピ

主菜「焼きしゃぶサラダ」

〔材料／4人分〕

豚しゃぶしゃぶ用肉	250g
春菊	1わ
長ねぎ	1／2本
韓国だれ	
おろしにんにく	1／2片分
すりごま	大さじ1／2
コチュジャン	大さじ2
砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ1
酢	大さじ1
ごま油	大さじ1
サラダ油	大さじ1

エネルギー 210Kcal たんぱく質 16.0g
カルシウム 100mg 塩分 2.2g

副菜 しめじと春菊の
ポン酢じょうゆあえ

主菜 焼きしゃぶサラダ



主食 ごはん

汁物 なめこと里いものみそ汁

（作り方）

- ① 春菊は葉を摘んで、かたい茎を除く。ねぎは斜め薄切りにして水に放す。
- ② 韓国だれの材料を大きめのボウルに混ぜ合わせる。
- ③ フライパンに油を熱し、豚肉を広げながら並べ、両面を焼く。一度に焼けない場合は、何枚かずつ焼いて取り出す。
- ④ 焼いた肉を②に入れ、よくあえる。春菊の葉と、ねぎの水をよくきって加え、ふんわりとあえる。



星野富弘美術館完成予想図

やわらかな表情と地域への拠点に

芦北町立星野富弘美術館着工

芦北町立星野富弘美術館の新築工事安全祈願祭が10月23日、湯浦給食センター跡地で行われました。

現地であった安全祈願祭には、町、地域住民代表、施工業者など関係者約50人が出席。祭壇に玉串を捧げて工事期間中の安全を祈りました。

同美術館は、温泉施設やきずなの里などの周辺施設を含めた、やさしさに出会える地域づくりの拠点施設として建設。平成18年5月のオープン予定しています。

鉄筋コンクリート平屋建ての美術館は、展示室、ビデオルーム、売店を設け、展示室には、星野富弘さんの原画と、リトグラフ34点を常設展示する予定となっています。また、企画展示等を計画しており、芸術、文化活動の拠点として

ても期待されます。

本町美術館は、全国初となる富弘美術館の姉妹館として建設されます。群馬県東村立富弘美術館には、星野さんの作品にふれようと、年間約35万人が訪れています。今年4月には、富弘美術館新館が新装開館し、生命の尊さと、やさしさを語りつづける星野さんの作品が、さらに多くの人々に感動と勇気を与え続けています。

星野富弘さん（群馬県桐生市）は、中学校の体育教師として指導中、事故で頸椎（けいずい）損傷の重傷を負い、肩から下の機能が麻痺する障害を抱えています。障害を抱えながらも、入院中に口にくわえた絵筆で詩画を書き始められ、退院後も創作活動を続け、詩画集の出版や国内外で詩画展を開催されています。



星野富弘詩画「菊」

今月号から美術館オープン予定の来年5月まで、星野富弘さんの詩画を毎月1点紹介します。